



# 家畜改良増殖法施行規則が一部改正されました

**令和2年10月1日付け**で家畜改良増殖法施行規則等が一部改正されました。今回の改正での主な変更点は以下のとおりです。

家畜人工授精所に関わる変更が中心となっていますので、変更内容を確認し、適切な運営をよろしくお願いいたします。

## ○家畜人工授精所開設許可証の記載事項の追加

従来に記載項目に加えて、「**管理番号**」等が追加されました。  
既に開設済みの家畜人工授精所については、後日管理番号を通知する文書をお送りします。

## ○家畜人工授精所開設許可証の備え置き義務化

**人工授精所内に常に開設許可証を備え置く必要があります。**  
なお、開設済みの家畜人工授精所の場合、上記の管理番号の通知文書も許可証と併せて備え置きが必要です。

## ○精液・受精卵保存容器への表示事項の新設

保存容器(ストロー等)への表示事項が以下のとおり明文化されました。  
ストロー等への直接表示のほか、ラベル貼付による表示も可能です。

人工授精用精液	・精液を採取した雄の家畜の名前 ・精液の採取年月日
体内・体外受精卵	・ <b>受精卵を処理した人工授精所等の管理番号</b> ・ <b>受精卵を採取した雌・雄の名前</b> (牛の場合は個体識別番号でも可) ・受精卵の採取年月日

## ○申請書等様式類の一部変更

各種申請等の際は家畜保健衛生所にお問い合わせください。